様式第六（第八条関係）

記 入 例

特 定 施 設 設 置 届 出 書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）
公共下水道管理者
戸田市長

会社印

申 請 者　〇〇県〇〇市〇〇〇 〇－〇－〇
住　　所　〇〇〇〇 株式会社　　電話番号 〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇

氏名又は名称及び法人に
あってはその代表者の氏名　　代表取締役　〇 〇 〇 〇　　代表者印

下水道法第12条の3第1項（下水道法第25条の10において準用する同法第12条の3第1項）の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇〇〇株式会社　戸田工場	※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地	戸田市〇〇〇 〇－〇 TEL 〇〇〇－〇〇〇〇	※ 受理年月日	年　月　日
特定施設の種類	23の2（ロ）	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり。	※ 審査結果	
△ 特定施設の使用の方法	別紙のとおり。	※ 備考	
△ 汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△ 下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△ 用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備　考

1　△印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。

2　※印の欄には、記載しないこと。

3　届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格 A4 とすること。

1　特定施設の構造

イ　特定施設の形式、構造、主要寸法及び能力並びに該当特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置（別添　第　○　図のとおり）

※　<u>カタログ又は取扱説明書等を添付して下さい。</u>

特定施設の名称　　23の2（ロ）　自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設

形　　式	PS版自動現像機（○○－○○○○） ローラー搬入による液浸漬方式（片面仕様）
構　　造	
主　要　寸　法	たて　：1,950mm　よこ　：1,650mm　高さ（深さ）　：1,200mm
特定施設の生産能力（月）	2,000（版／月）
備　　考 （定休日を記入のこと）	定休日　：　日曜日・祝日

ロ　特定施設に係る工事の着手及び完成の年月日並びに特定施設の使用開始の年月日

工事着手予定年月日　　平成○○年○○月○○日

工事完成予定年月日　　平成○○年○○月○○日

使用開始予定年月日　　平成○○年○○月○○日

ハ　その他特定施設の構造について参考となるべき事項

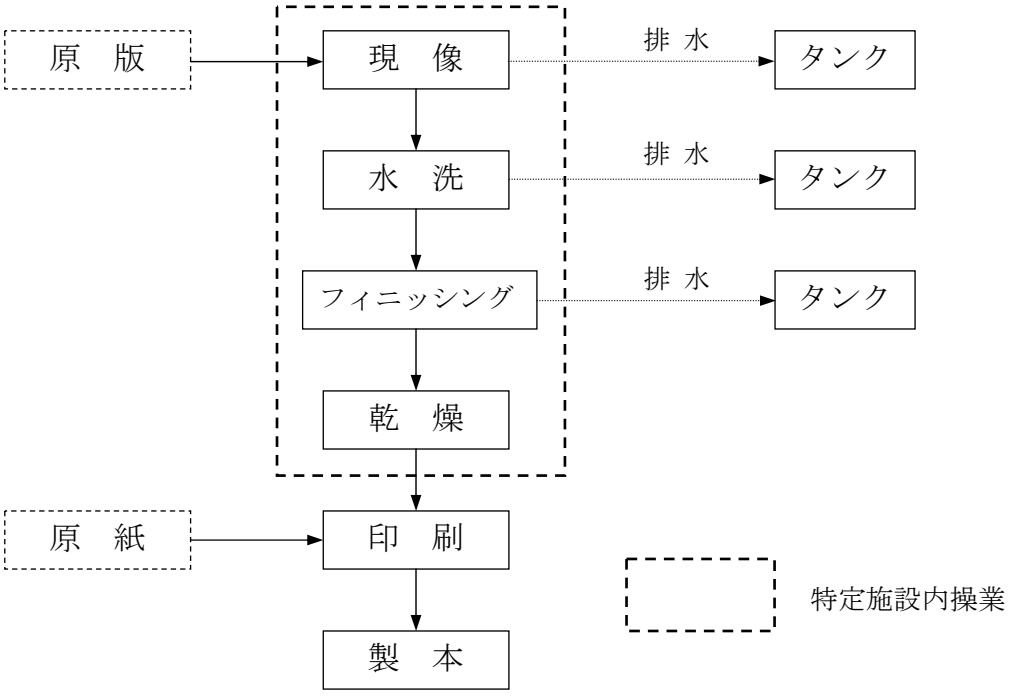
2　特定施設の使用方法

イ　特定施設の設置場所（別添　第　○　図のとおり）

（図中の特定施設は赤線で記入のこと。）

※　**特定施設の設置場所を別添資料として添付して下さい。**

ロ　特定施設を含む操業の系統（別添　第　○　表のとおり）



※　**資料添付の場合は未記入で構いません。**

ハ　特定施設の使用時間間隔及び１日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

使 用 時 間 間 隔	8:30 ～ 17:30
１日当りの使用時間	8 時間
季節的変動の概要	無　or　有
備　　考	5,6 月は繁忙期である　　等

ニ　特定施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法及び１日当りの使用量

使用材料の種類 (消耗資材を含む)	使　用　方　法	使　用　量 （日）	備　　考
PS 版（アルミ版）	印刷に使用	100（版／日）	
PS 版 現像液	現像に使用	0.5（ℓ ／日）	
PS 版 補充液	現像に使用	0.5（ℓ ／日）	
フィニッシングガム	処理液として使用	1.2（ℓ ／日）	

ホ　特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質の通常の値及び最大の値並びに当該汚水の通常の量及び最大の量

（別添 水質調書のとおり）

（特定施設はクローズシステムであり、排出される廃液は全量タンクに回収し、産業廃棄物として処理する。よって、特定施設から直接公共下水道への排出はない。
廃液量は 2 週間で約 120ℓ である。）

ヘ　その他の特定施設の使用方法について

3　汚水の処理の方法

イ　汚水の処理施設（除害施設）の設置場所（別添　第　○　図のとおり）

（特定施設からの排水は、外部廃液タンクにて回収する。）

※　**貯留タンクのカタログを添付して下さい。**

ロ　汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用の開始の予定年月日

工事着手予定年月日　　平成○○年○○月○○日

工事完成予定年月日　　平成○○年○○月○○日

使用開始予定年月日　　平成○○年○○月○○日

ハ　汚水の処理施設（除害施設）の種類、形式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理方法

除害施設管理責任者氏名（予定）　例）製造責任管理部　○ ○ ○ ○

種　　類	廃液貯留用ポリタンク
形　　式	例 1）○○ドラム式○○○－○ 例 2）偏平かん○○－○
構　　造	例 1）密閉式円筒型容器（高密度ポリエチレン） 例 2）偏平かんタイプ（高密度ポリエチレン）
主 要 寸 法 たて×よこ×高さ （深さ）	例 1）φ600mm × 1,000mm 例 2）350mm × 180mm × 410mm
汚水処理の能力 （t／日）	例 1）容量約 300ℓ を 2 台設置 例 2）容量約 20ℓ を 3 台設置
処 理 の 方 法	外部廃液タンクに回収し、産業廃棄物として処理。 2 週間に 1 回のペースで回収を行う。
備　　考	

ニ　汚水の処理の系統（別添　第　○　図のとおり）

（廃液貯留タンクに回収し、産業廃棄物として処理する。）

ホ　汚水の集水及び汚水処理施設（除害施設）までの導入方法

（別添　第　○　図のとおり）

（図中の特定施設は赤線で記入のこと。）

※　**貯留タンクまでの排水系統を記入して下さい。**

ヘ　汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び１日当りの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合にはその概略

使 用 時 間 間 隔	8:30 ～ 17:30
１日当りの使用時間	8 時間
季節的変動の概要	無　or　有
備　　考	5,6 月は繁忙期である　　等

ト　汚水の処理施設（除害施設）において、中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の１日当りの用途別使用量

消 耗 資 材 名	用　　途　　別	使　用　量 （ 日 ）	備　　考

チ　汚水処理施設（除害施設）の使用時における当該汚水の処理施設による処理前及び処理後の汚水の水質の通常の値及び最大の値並びに当該汚水の通常の量及び最大の量

（別添 水質調書のとおり）

リ　汚水の処理によって生じる残さの種類及び１月間の種類別生成量並びにその処理方法

残さの種類	生成量（t／日）	処理の方法の概略	備考
アルカリ性廃液（現像液・補充液） 酸性廃液（ﾌｨﾆｯｼﾝｸﾞｶﾞﾑ）	0.2（t／日） 0.1（t／日）	産業廃棄物として処理を委託 株式会社 ○○○○ TEL ○○－○○○○－○○○○	

（処理の方法の概略欄には、残さの処理を委託する場合は、その委託先及び埋立て等する場合はその所在地も記載すること。）

ヌ　排出口の位置及び数（別添　第　○　図のとおり）

（図中の排出経路は赤線で記入のこと。）

※　公共汚水桝の位置及び排水系統を記入して下さい。

ル　その他汚水の処理の方法について参考となるべき事項

4　下水の量及び水質

イ　当該特定事業場から公共下水道への排出口における下水の通常の量及び最大の量並びに当該下水の水質の通常の値及び最大の値

（別添 水質調書のとおり）

ロ　当該特定事業場から公共下水道に排除される下水の量及び水質について参考となるべき事項

（特定施設からの廃液は全量回収され、産業廃棄物として処理される。）

5　用水及び排水の系統

イ　用水及び排水系統図（別添　第　○　図のとおり）

ロ　用途別用水使用量

Ⅰ）用　水　別（m^3／日）

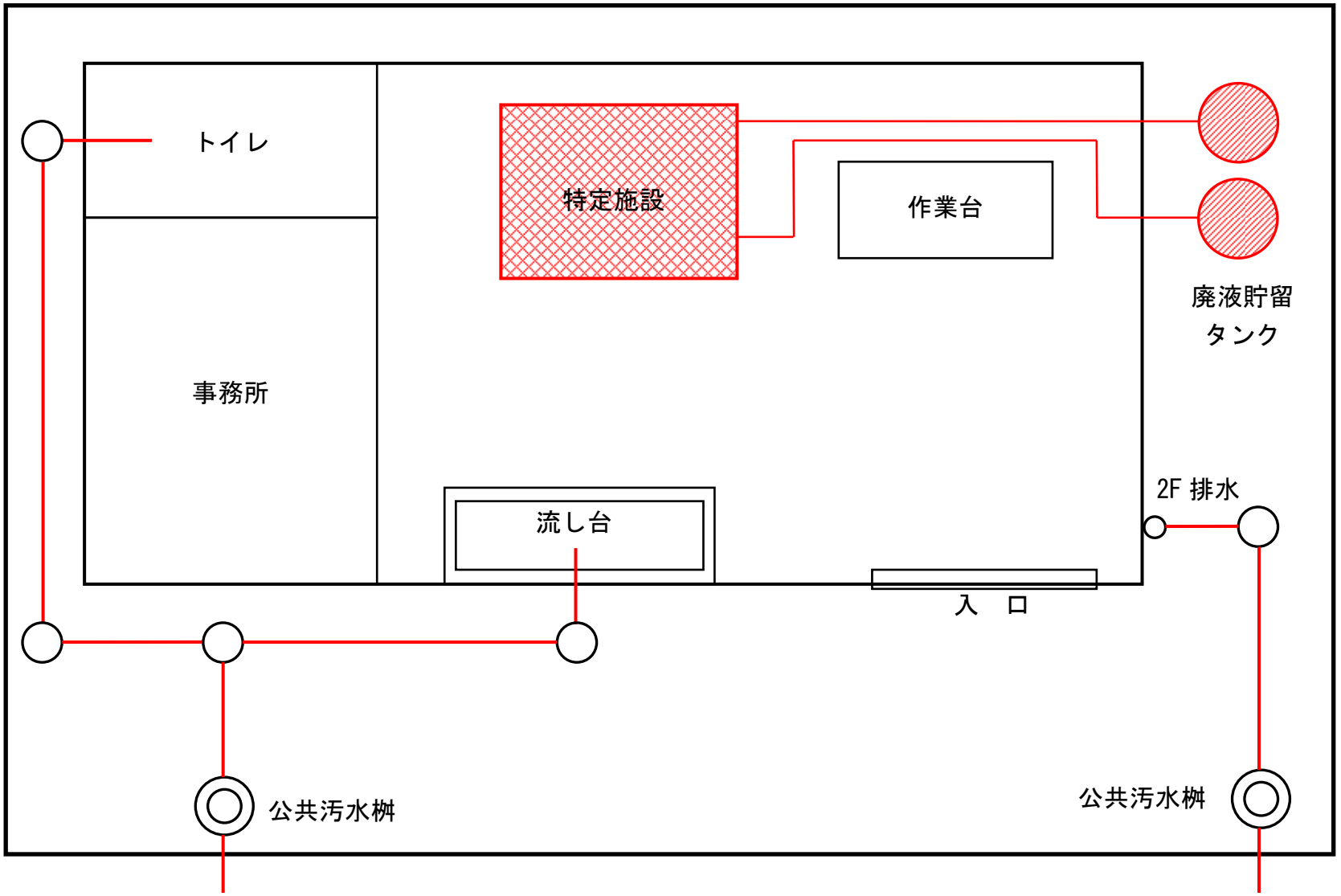
上水道	工業用水道	地下水	河用水		その他	合　計
0.5	0	0	0		0	0.5

Ⅱ）用　途　別（m^3／日）

当該特定施設使用量	当該除害施設使用量	その他の事業使用量	生活等使用量	その他	合　計	備　考
0.01	0	0.02	0.47	0	0.5	

6　その他の参考事項

資　本　金	○○○○ 万円
従　業　員　数	○○ 人
事業場面積	2,000m^2
公共下水道接続前の放流先	―



図－○　特定施設の設置場所、廃液貯留タンクまでの排水系統、公共汚水桝の位置及び排水系統